

平成29年産みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山県）

－ 収穫量・出荷量とも減少したものの、14年連続全国第1位 －

【調査結果の概要】

1 結果樹面積

結果樹面積は7,070haで、前年産に比べ90ha（1%）減少した。

2 収穫量及び出荷量

収穫量は14万4,200 t、出荷量は13万400 tで、前年産に比べそれぞれ1万6,900 t（10%）、1万5,500 t（11%）減少した。

また、平成27年産に比べると、それぞれ1万6,000 t（10%）、1万2,000 t（8%）減少した。

なお、収穫量の全国順位は1位で、全国の19%を占めている。

図1 みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（和歌山県）

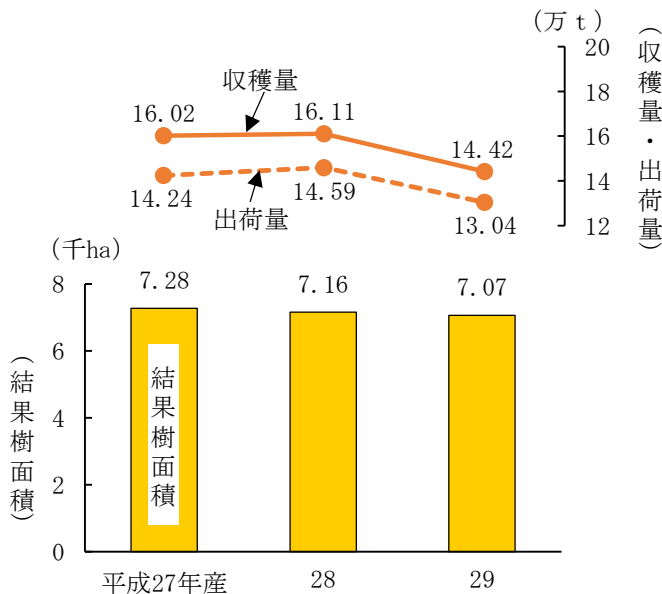
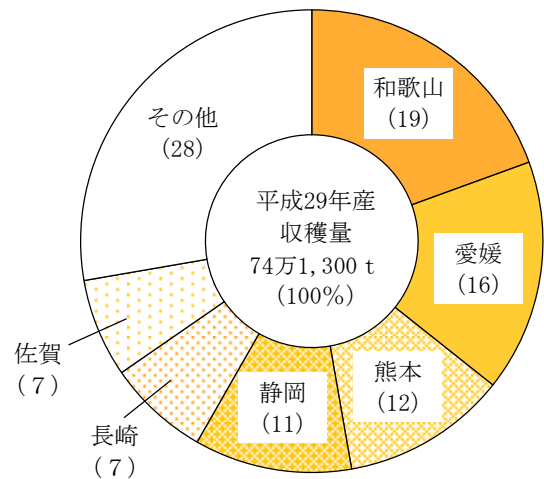


図2 みかんの都道府県別収穫量割合



注：1 結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。
2 みかんは果実数が多くなる年（表年）と少なくなる年（裏年）とが交互に発生する傾向があることから、収穫量及び出荷量は平成27年産とも対比した。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

みかんの結果樹面積、10 a 当たり収量、収穫量及び出荷量（和歌山県）

区分	1 みかん計				2 早生温州			
	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成20年産	7,590	2,290	173,800	158,300	4,540	2,350	106,700	98,200
21	7,530	2,510	189,000	172,100	4,510	2,470	111,400	101,800
22	7,500	2,030	152,300	138,300	4,490	2,080	93,400	84,900
23	7,480	2,430	181,800	164,500	4,480	2,510	112,400	101,900
24	7,460	2,180	162,600	147,600	4,450	2,210	98,300	89,500
25	7,410	2,280	168,900	154,200	4,420	2,270	100,300	91,900
26	7,390	2,350	173,700	157,700	4,400	2,430	107,000	97,700
27	7,280	2,200	160,200	142,400	4,300	2,220	95,500	86,100
28	7,160	2,250	161,100	145,900	4,230	2,290	96,900	88,000
29(概数)	7,070	2,040	144,200	130,400	4,180	2,130	89,000	80,800

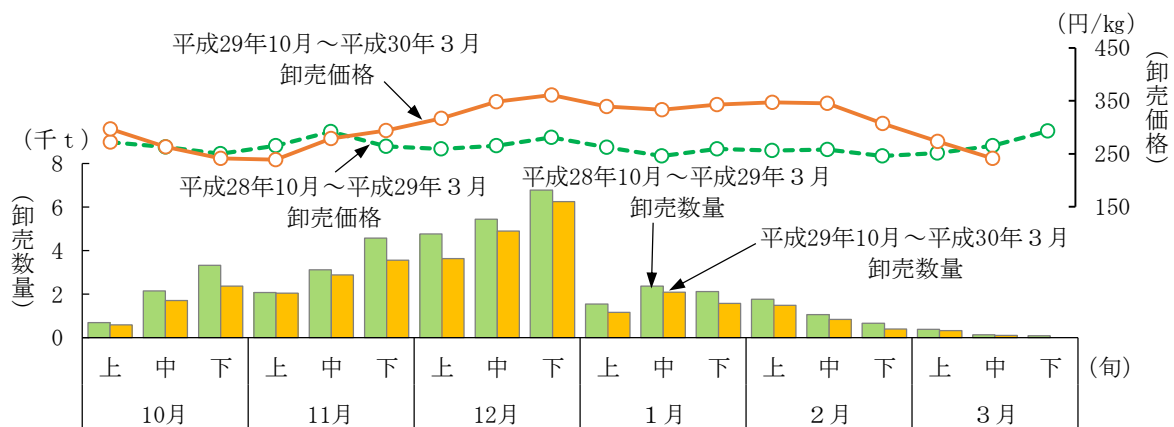
資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』（以下3まで同じ。）

3 普通温州

区分	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
平成20年産	3,050	2,200	67,100	60,100
21	3,030	2,560	77,600	70,300
22	3,020	1,950	58,900	53,400
23	3,010	2,310	69,500	62,600
24	3,000	2,140	64,200	58,100
25	2,990	2,300	68,800	62,300
26	2,990	2,230	66,700	60,000
27	2,980	2,170	64,700	56,300
28	2,930	2,190	64,200	57,900
29(概数)	2,890	1,910	55,200	49,600

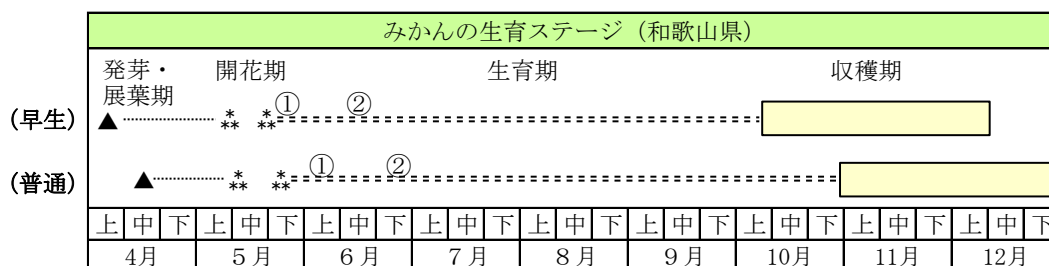
◎ 関連データ

1 みかんの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場計・和歌山県産）



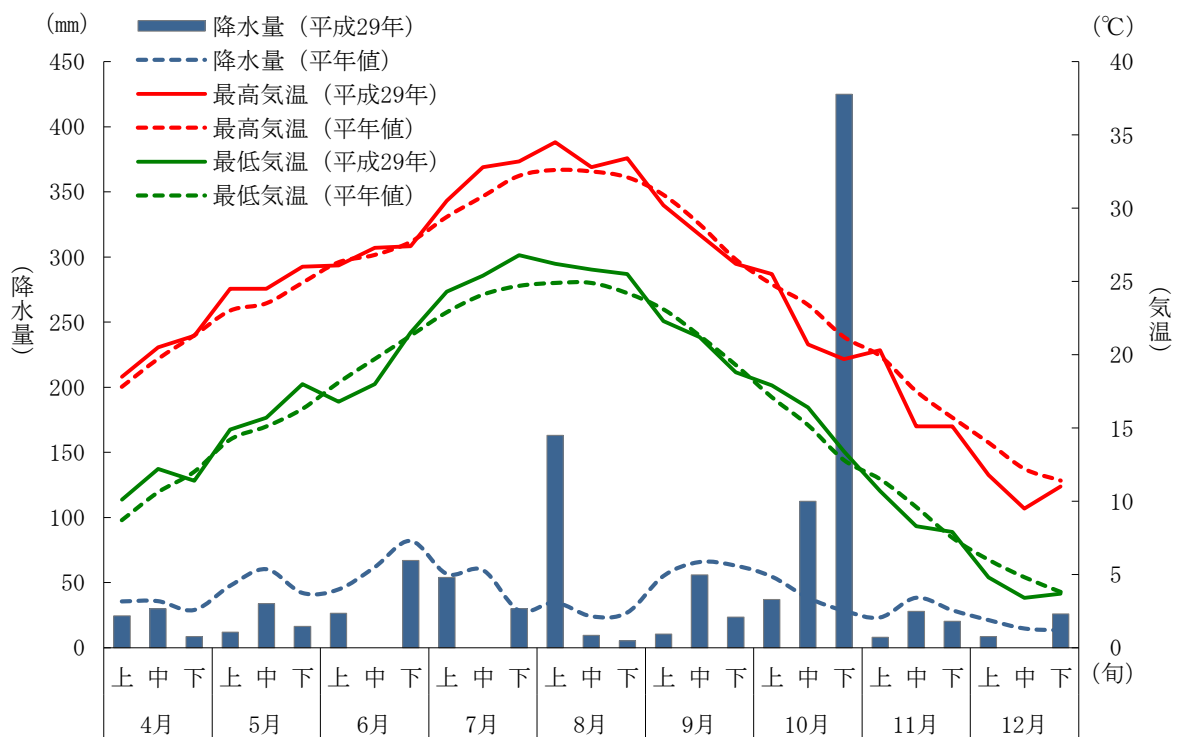
注：1 全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を積み上げて算出したものである。
2 平成30年3月下旬の卸売数量・卸売価格は、和歌山県産の卸売数量が、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

2 みかんの生育ステージと気象概況



資料：農林水産省統計部『果樹生育ステージ総覧』
注：1 早生は（宮川・興津）、普通は（向山・林）の露地栽培を転載した。
2 ①②は生理的落果時期で、①は一次落果、②は二次落果時期である。

気象概況（観測地点：和歌山）



資料：和歌山地方気象台ホームページ『過去の気象データ検索』

【調査結果】

1 結果樹面積

結果樹面積は7,070haで、前年産に比べ90ha（1%）減少した。

これは、未結果樹が結果樹齢に達したことによる増加があったものの、優良品種への改植や、生産者の高齢化等による廃園などによって減少があったためである。

なお、平成27年産に比べると、210ha（3%）の減少となった。

2 生育概況等

着花数は、園地間や樹間によるばらつきがあったものの、全体としては前年産に比べ少なくなった。

結果数は、着花数が少なかったことや、5月中下旬が高温少雨に推移したため、一次生理的落果が多くなったことにより、前年産に比べかなり少なくなった。

果実肥大は、6月上旬から7月下旬にかけて少雨に推移したため、初期肥大は抑制されたが、9月中旬以降の降雨により回復し、前年産に比べやや良好であった。

主な被害は、台風第5号、18号及び21号の上陸・接近に伴う暴風による傷果の発生などがみられた。

3 10a当たり収量

10a当たり収量は2,040kgで、前年産に比べ210kg（9%）下回った。

これは、果実肥大はやや良好であったものの、結果数がかなり少なかったためである。

また、平成27年産に比べると、160kg（7%）下回った。

4 収穫量・出荷量

収穫量は14万4,200t、出荷量は13万400tで、前年産に比べそれぞれ1万6,900t（10%）、1万5,500t（11%）減少した。

また、平成27年産に比べると、それぞれ1万6,000t（10%）、1万2,000t（8%）減少した。

なお、収穫量及び出荷量ともに、統計調査で把握するようになった昭和46年産以降で最も少なくなったが、収穫量では全国の19%、出荷量では20%を占め、それぞれ平成16年産から14年間連続1位となっている。

表 平成29年産みかんの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量
(全国及び収穫量上位6主産県)

区分	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	出荷量	対28年産比		対27年産比		
					結果樹面積	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
全 国									
み かん	40,600	1,830	741,300	661,300	98	96	99	95	97
早生温州	22,800	1,960	445,800	403,200	97	95	102	96	97
うち極早生みかん	6,830	1,910	130,600	119,100	96	92	101	93	94
ハウスみかん	415	4,870	20,200	19,200	95	91	101	92	92
普通温州	17,800	1,660	295,500	258,000	98	97	96	94	96
和 歌 山									
み かん	7,070	2,040	144,200	130,400	99	97	93	90	92
早生温州	4,180	2,130	89,000	80,800	99	97	96	93	94
うち極早生みかん	927	2,150	19,900	18,400	97	93	92	85	86
ハウスみかん	16	4,130	661	632	94	84	96	81	82
普通温州	2,890	1,910	55,200	49,600	99	97	88	85	88
愛 媛									
み かん	5,810	2,070	120,300	109,400	99	97	103	100	102
早生温州	3,400	2,190	74,500	69,100	98	96	104	100	100
うち極早生みかん	953	2,100	20,000	18,600	96	89	104	93	94
ハウスみかん	26	3,800	988	947	100	100	95	95	96
普通温州	2,410	1,900	45,800	40,300	99	98	102	100	105
熊 本									
み かん	3,930	2,180	85,700	78,600	98	96	119	115	114
早生温州	2,660	2,360	62,800	57,800	97	95	117	112	112
うち極早生みかん	940	2,460	23,100	21,200	93	91	104	95	96
ハウスみかん	22	5,050	1,110	1,040	76	76	96	73	73
普通温州	1,270	1,800	22,900	20,800	100	98	125	122	122
静 岡									
み かん	5,170	1,580	81,700	71,700	98	97	83	81	83
早生温州	1,350	1,810	24,400	21,700	97	95	81	77	78
うち極早生みかん	213	1,880	4,000	3,610	100	99	90	89	90
ハウスみかん	20	3,880	776	741	100	95	92	88	88
普通温州	3,820	1,500	57,300	50,000	99	98	84	83	86
長 崎									
み かん	3,000	1,760	52,800	47,000	97	96	102	99	99
早生温州	1,660	1,870	31,000	27,600	97	95	99	95	95
うち極早生みかん	610	1,810	11,000	9,770	94	93	98	90	89
ハウスみかん	17	4,000	680	647	89	89	96	86	86
普通温州	1,340	1,620	21,700	19,400	99	98	107	104	105
佐 賀									
み かん	2,240	2,280	51,100	47,100	95	93	122	113	115
早生温州	1,510	2,460	37,100	34,500	93	90	124	112	113
うち極早生みかん	916	2,070	19,000	17,500	92	87	127	111	111
ハウスみかん	127	5,500	6,990	6,710	98	91	107	97	97
普通温州	730	1,920	14,000	12,600	98	99	118	117	119

注：1 調査は、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した。
2 平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した。
3 結果樹面積については前年産（28年産）及び前々年産（27年産）と対比を行った。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の範囲・対象

調査の範囲は、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県（果実需給安定対策事業を実施する都道府県を含む。）を調査の範囲（主産県）としている。

なお、平成29年産より、おおむね80%を占めるまでの上位都道府県の要件を、出荷量から栽培面積に変更した。

調査対象は、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体（関係団体調査）及び標本経営体（標本経営体調査）とした。

3 調査事項

- (1) 関係団体調査
結果樹面積及び出荷量
- (2) 標本経営体調査
結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品 目	主たる収穫期間
早生温州	平成29年 9月～11月
ハウスみかん	平成29年 4月～7月
極早生みかん	平成29年 9月
普通温州	平成29年11月～12月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10 a 当たり収量を、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結

果により補完し、これに結果樹面積を乗じて算出している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた出荷率等を基に算出している。

7 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。
- (4) 結果数とは、生理的落果及び摘果が行われた後の果実数をいう。被害による落果がなければ収穫果数になる。
- (5) 生理的落果とは、果実の発育途中で暴風雨、病虫害及び薬害以外の原因により落果することをいう。

8 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数 (下から)		2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

- (2) この資料に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成29年産みかんの結果樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山県）」（近畿農政局）による旨を記載してください。

9 その他

平成29年産の数値は概数値である。確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載（平成30年12月予定）するとともに、その後刊行する『近畿農林水産統計年報』への掲載を予定している。

なお、詳細な数値を農林水産省ホームページに掲載した後の正誤情報は、農林水産省ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 近畿の統計調査結果は、近畿農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。
【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/> 】
- 全国の統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。
【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】
この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y1 】

【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要
<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

近畿農政局和歌山県拠点 統計チーム
電 話：（代表）073-436-3831 内線304
（直通）073-436-3835
F A X： 073-436-5002

◎農林水産統計全般について

近畿農政局統計部統計企画課
電 話：（代表）075-451-9161 内線2623
（直通）075-414-9620
F A X： 075-417-2067



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<http://www.e-stat.go.jp/>